

令和元年12月5日
九州地方整備局

災害対応の協力に対する感謝状を贈呈します 【有明海における漂流物回収及び油流出防除対応】

令和元年8月の前線に伴う大雨後、有明海において大量の漂流物が確認されました。九州地方整備局では、調査観測兼清掃船「海輝」、「海煌」を出動させ、漂流物の回収作業を行いました。海輝、海煌を運航する企業は、酷暑のなか1週間を超える長期に亘り回収作業を行うとともに、回収作業が困難で危険が伴う有明海奥部の浅海域においては漁業者と連携して大量の漂流物を撤去し、同海域における船舶の航行安全確保に大きく貢献しました。

また、九州地方整備局と災害協定を締結している団体にも漂流物の回収や有明海への油流出防除に関する作業を要請しました。要請を受けた団体は、ドローンやヘリによる漂流物及び油膜の確認調査、クレーン付台船による漂流物の連携回収、船舶による油膜監視等を行い、有明海における海洋汚染の防除に大きく貢献しました。

これらの企業、団体の強い使命感と功績を称え、感謝状を贈呈するものです。

1. 有明海における漂流物回収及び油流出防除の功労者

■感謝状授与者（五十音順）※（ ）は主な作業

- 一般社団法人 海洋調査協会 九州支部（ドローン、ヘリによる漂流物及び油膜の確認）
- 一般社団法人 日本埋立浚渫協会 九州支部（クレーン付台船による漂流物の連携回収）
- 九州港湾空港建設協会連合会（船舶による油膜監視等）
- 熊本フェリー株式会社（調査観測兼清掃船「海煌」による漂流物の回収）
- 祐徳近海汽船株式会社（調査観測兼清掃船「海輝」による漂流物の回収）

2. 感謝状贈呈式（3回に分けて実施）

（第1回）

■日時：12月9日 15:00～15:30

■授与者：一般社団法人 海洋調査協会 九州支部、一般社団法人 日本埋立浚渫協会 九州支部、九州港湾空港建設協会連合会

■場所：福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎
九州地方整備局港湾空港部 3階会議室

（第2回）

■日時：12月10日 13:30～14:00

■授与者：熊本フェリー株式会社

■場所：熊本市南区川尻2-8-61 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所 会議室

（第3回）

■日時：12月19日 14:00～14:30

■授与者：祐徳近海汽船株式会社

■場所：大牟田市小浜町1-2-1 三井鉱山ビル 2階会議室

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課

課長 本田

課長補佐 中島

直通：092-418-3380



ドローンによる漂流物の確認調査
(一般社団法人 海洋調査協会 九州支部)



クレーン付台船による漂流物の連携回収
(一般社団法人 日本埋立浚渫協会 九州支部)



船舶による航走攪拌
(九州港湾空港建設協会連合会)



「海煌」による漂流物の回収
(熊本フェリー株式会社)



「海輝」による漂流物の回収
(祐徳近海汽船株式会社)

取材登録書

取材をご希望の方は、FAXで登録をお願いします。
取材時には腕章又は身分証明書をつけていただくようお願いします。
なお、事前に取材登録がなされていない場合でも、当日は会場にて受付を行っていますので、
直接、会場までお越しいただき、現地担当者の指示に従ってください。

FAX 送信期限：令和元 12 月 6 日（金）15 時まで（12/9、12/10 開催分）

12 月 18 日（水）15 時まで（12/19 開催分）

FAX 送信先：国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 中島

FAX 番号：092-418-3032

◆会場名（丸印を付けて下さい）
12 月 9 日九州地方整備局会場 ()
12 月 10 日熊本港湾・空港整備事務所会場 ()
12 月 19 日大牟田市三井鉱山ビル会場 ()
◆報道機関名

◆取材者
1) 代表者 _____
2) _____
3) _____
◆連絡先（代表者の連絡先）→取材当日に連絡可能な携帯番号等

（備考）

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記入して下さい。
（取材当日、変更等が生じた場合に、連絡します。）